

① 記事は北アルプスの状況だが、静岡県の南アルプスのライチョウの状況を調べよ。

② 高山植物保護・ライチョウ保護のため、どのような取り組みを為せばよいか考察せよ。

③ 静岡県・静岡市では行政として、どのような対策を取っているか、調べよ。



2016年7月、北アルプスで撮影されたライチョウの雌と雛（長野県環境保全研究所提供）

北アルプス

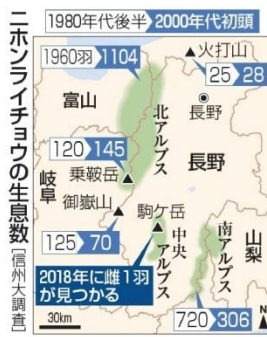
ライチョウ絶滅危機

温暖化影響、今世紀末

北アルプスに生息する国の特別天然記念物ライチョウが、地球温暖化の影響で今世紀末に絶滅する恐れがあると、長野県環境保全研究所などが10日発表した。餌となる高山植物や営巣場所となるハイマツの減少により、生息に適した環境が2100年までにほぼ消滅すると考えられている。温暖化が生物の生息環境に深刻な影響を与えることが鮮明になった。ライチョウは1980年代に約3千羽が南北アルプスなどの高山帯に生息していたが、2000年代初頭には約700羽に減少。同研究所はほかの機関と11年から8年かけて、北アルプスのライチョウの実態を調査した。その結果、生息には①キツネやテンといった天敵から身を守り営巣できるハイマツ②雪に残る雪が解けた後に生える餌となる高山植物③風の当たらない場所

長野の研究所

にあり餌となる高山植物の三つがバランス良く存在することが必要だと分かった。その上で、現在のうちに化石燃料と自然エネルギーを併用しながら経済成長を重視した。北アルプスのライチョウの生息域が今世紀末には現在の面積の0・4%になるとの見通しが明らかになった。



2019年7月11日
朝刊

年 組 名前

作問者：NIEアドバイザー 実石 克巳（静岡県立静岡高校 教諭）

（高校／国語）

<参考>①＝生態学に関する問題、②＝環境学・観光学に関する問題、③＝行政学・環境学に関する問題